

2011茨城大会(144MHz)での私の判断と行動

2011年11月20日(日)
於 茨城県水戸森林公園

安島 巧

半径約750m内

主幹道路	〰〰〰
支路、道	〰〰〰
小溝、小橋	〰〰〰
不明瞭な小橋	〰〰〰
切り崩き	〰〰〰
ハイアライイン	〰〰〰
崖(横断可、不可)	〰〰〰
境界、耕作地の境界	〰〰〰
すべり谷、陥状の谷	〰〰〰
崖、石積、築込	〰〰〰
崖(大、小)、岩石群	〰〰〰
通行不能のがけ	〰〰〰
土がけ、岩がけ、がけ	〰〰〰
きつ、小さなきつ	〰〰〰
池、井戸、水汲設備	〰〰〰
窪地、不明瞭な窪地	〰〰〰
川、細い水路	〰〰〰
細い渚、湧水	〰〰〰

2010年1月修正
[編集] 安島 巧
[編集] 安島 巧

X 田 畑 民家の敷地内等は通行禁止
※はJ50Mによる

紅葉・雑草	〰〰〰
耕作地、果樹園	〰〰〰
耕作地の敷地(白)	〰〰〰
耕作地	〰〰〰
木が生ばらな朝	〰〰〰
木が生ばらな夜	〰〰〰
瓦物・瓦葺地	〰〰〰
開けた草地	〰〰〰
木のあま	〰〰〰
不明瞭な窪地	〰〰〰
通行可能(通行)	〰〰〰
通行困難(通行)	〰〰〰
通行困難(通行)	〰〰〰
通行困難(通行)	〰〰〰
通行困難(通行)	〰〰〰

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

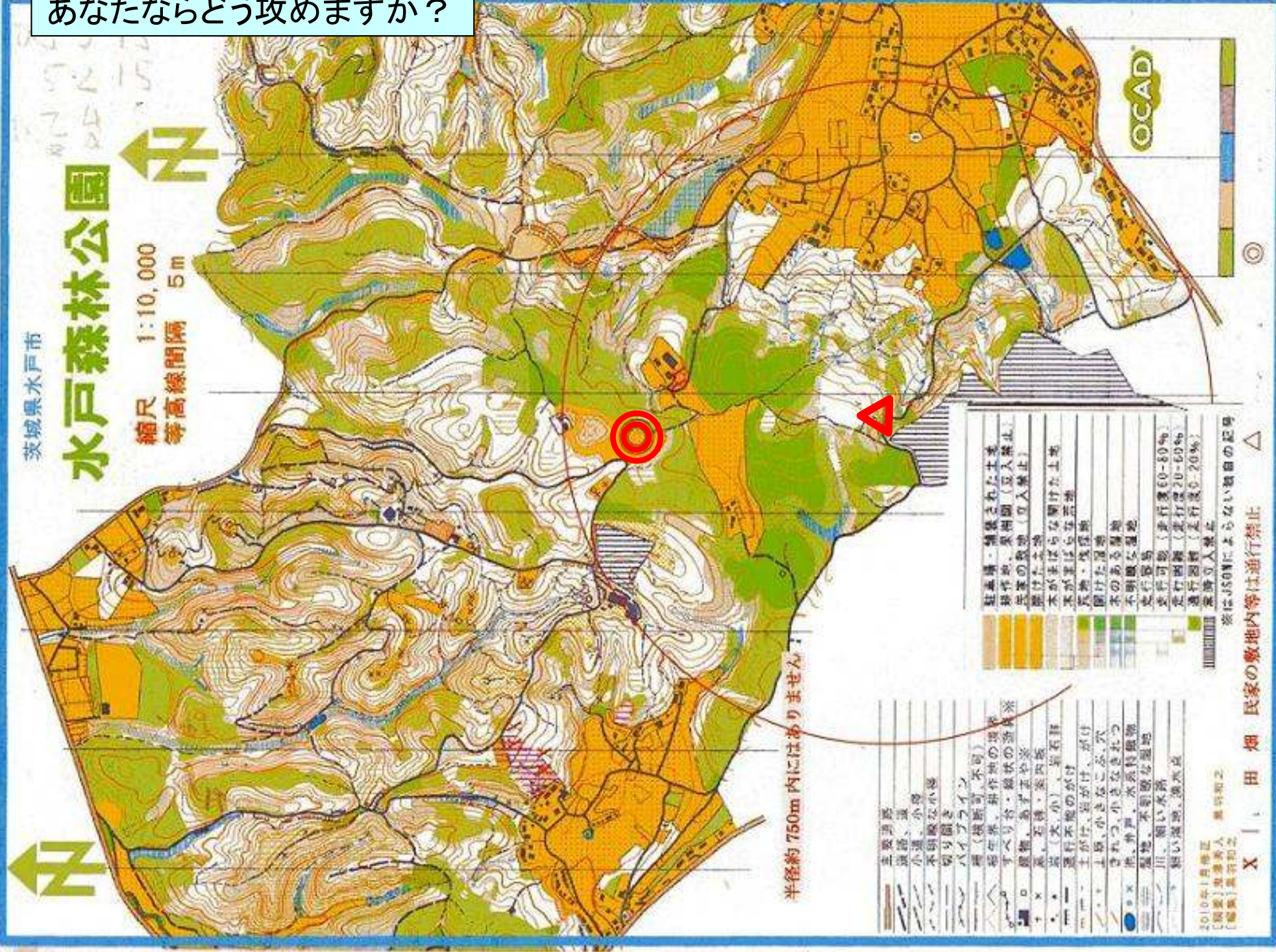
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

茨城県水戸市

水戸森林公園

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



半径約 750m 内にはありません

- 主要道路
- 道路、溝
- 小道、小橋
- 不明瞭な小橋
- 切り傾き
- ハイプライン
- 崖 (横断可、不可)
- 境界、耕作地の境界
- すべり谷、緩状の谷
- 崖、石積、築石
- 崖 (大、小)、築石群
- 通行不能の谷
- 土がけ、岩がけ、がけ
- 上礫、小さな谷、穴
- きれつ、小さな谷、穴
- 池、井戸、水質特異地
- 湿地、不明瞭な湿地
- 川、細い水路
- 細い渓流、湧水

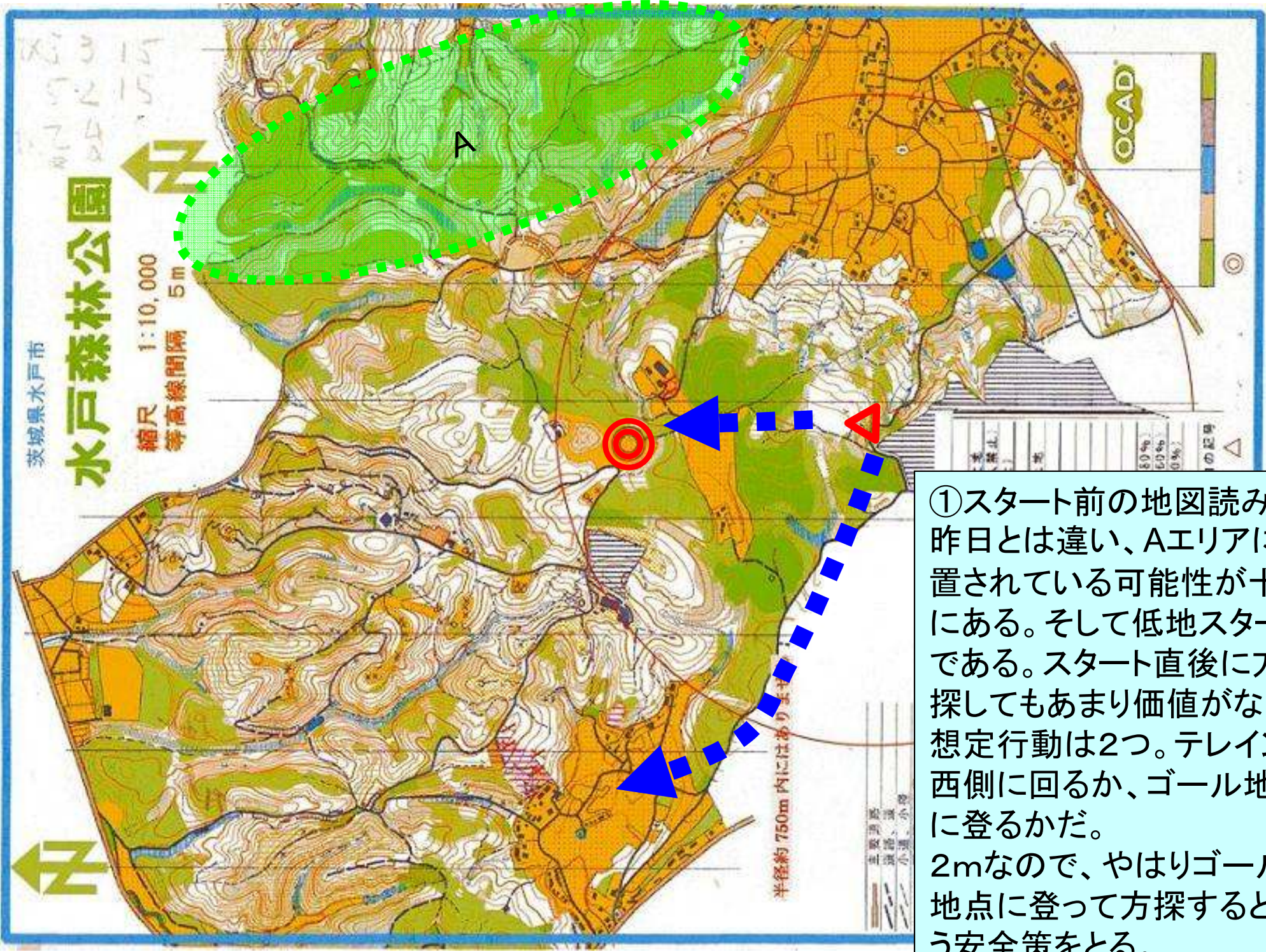
2010年1月修正
[編集] 藤田 和之
[編集] 藤田 和之

- 紅毛塙・傾斜された土壌
- 耕作地、果樹園 (豆入禁止)
- 農業の敷地 (豆入禁止)
- 傾けた土壌
- 木がまばらな開けた土高
- 木がまばらな荒れ地
- 瓦物・瓦葺地
- 開けた屋根
- 木のあふる屋根
- 不明瞭な屋根
- 走行可能 (歩行速度 60-69%)
- 走行困難 (歩行速度 20-59%)
- 通行困難 (歩行速度 0-19%)
- 崖 崖立入禁止

※はJIS0Mに よらない独自の記号

X | 田 畑 民家の敷地内等は通行禁止

公園内は土砂崩れ・倒壊場所・倒壊場所・工事中の箇所があります。気をつけて通過ください。
2011年11月20日 (日) 144MHz 帯部門 < 第20回 ARDF 茨城競技大会 >



茨城県水戸市

水戸森林公園

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m

OCAD

①スタート前の地図読み
昨日とは違い、Aエリアに設置されている可能性が十分にある。そして低地スタートである。スタート直後に方探してもあまり価値がない。想定行動は2つ。トレイン西側に回るか、ゴール地点に登るかだ。2mなので、やはりゴール地点に登って方探するという安全策をとる。

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



②まずゴール地点へ

何人かが探索開始地点で立ち止まりもせずテ
レイン南西側に向け走っていく。自分は逆に北
向きゴールへと同じく立ち止まらずに向かう。こ
ちらには誰もついてこない。TX1が強いと思っ
たがどうも様子が変わる。んんっ。ビーコンがもう出
ているのか？周波数切り替えをするが間違っ
ていなさそうだ。確かにMOでなくMOEだ。MOE
の連続送信になっている。本部のスタッフに「
TX1が連続送信になっています」と告げると、「
今向かっています」との返事。さてどうするか。

半径約 750m 内にはありません

主要道路
道路、道



③山で方探

じきに正常に戻ると考え、せつくなので、最も受信条件のよい小山に登るがまだ連続送信はとまらない。連続TX1信号の隙間でかすかに聞こえる他のTX信号での方探を試みるが、強い信号が耳に入るとどうしてもそれにつられてしまう。無理と判断した。正常に戻るまでしばらく待つか？そこでふと考えたのが、「この連続TXをゲットしよう」連続信号を追いかけるチャンスはめったにない。正常に戻されるのが早いかゲットするのが早いかだ。これは面白い。

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



④TX1を追いかける

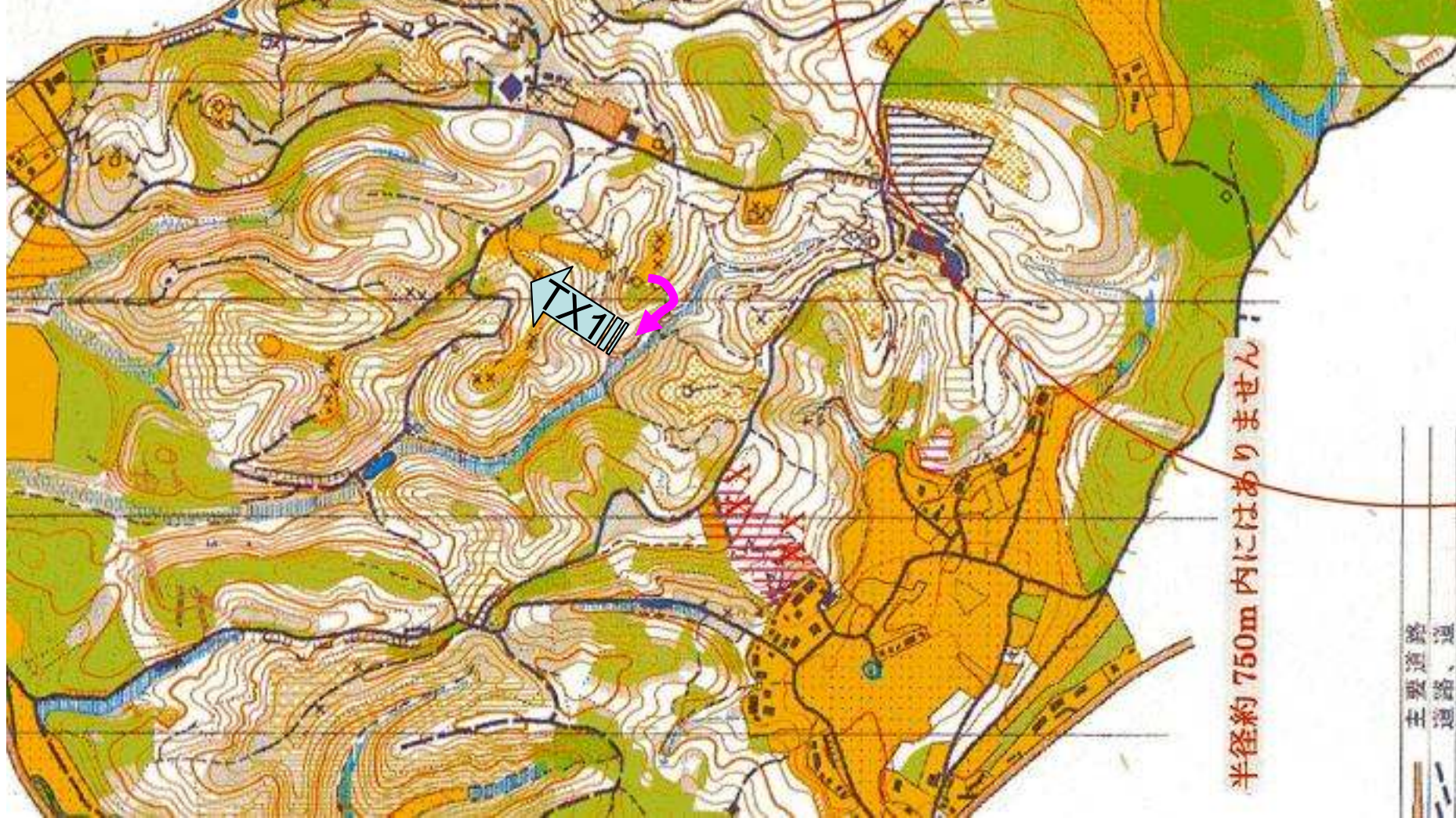
連続TX1は恐竜公園のほうだ。手当てに結構時間がかかっているということは、車道の脇ではなく、結構奥地にあるに違いない。追いかけていくと崖に到達。何？谷の反対側か？それとも谷のそこ？落ち着いて考えて入れない。時間との勝負だ。手当てする場合、即正常になるとは限らない。1・2回(5~10分)送信されないかもしれない。急がねば。谷に下りる。

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑤弱くなる

TX1信号が聞こえなくなる。谷に下りたためか？他のTXが聞こえ始めたが、他のTXの方向は皆目見当がつかない。しかも谷なのでここでの方探も無理だ。とりあえず強力であったTX1を兎に角目指すことにする。TX1が聞こえたがやはり弱い。しかも恐竜公園のほうだ。また上に上らねばならないのか？



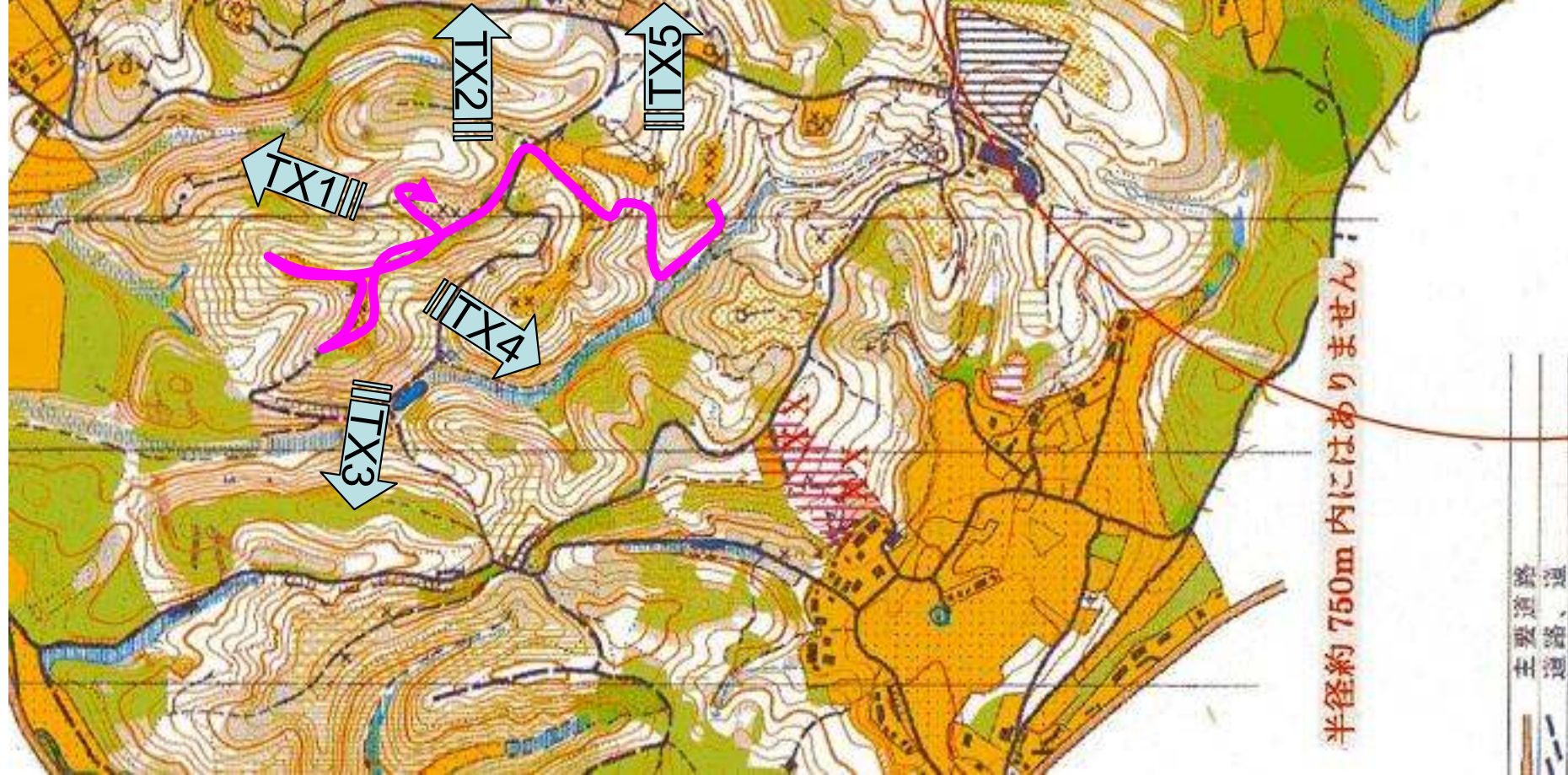
半径約 750m 内にはありません

主要道路
道路、道

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m

⑥恐竜公園

TX3,4はテレイン西側、TX5はテレイン東側だ。ターゲットのTX1はなぜか弱く送信タイミングがあってなく強力なTX2にかぶっている。JST(=大会時計)に対してTX1はあっているが他のTXは15秒ほどずれている。TX1がちゃんと聞こえるのは15秒間だ。この大切な15秒間でTX1を方探する。かなり北のほうだ。恐竜公園の北端の数箇所TX1を探索するがこの付近には無い。おかしい、さっきはかなり強力だったのに。一方、自分には不要なTX2はガンガン入感する。いったいTX1はどこへ行ってしまったのか。TX2と入れ替わってしまったのか、化けてしまったのか。

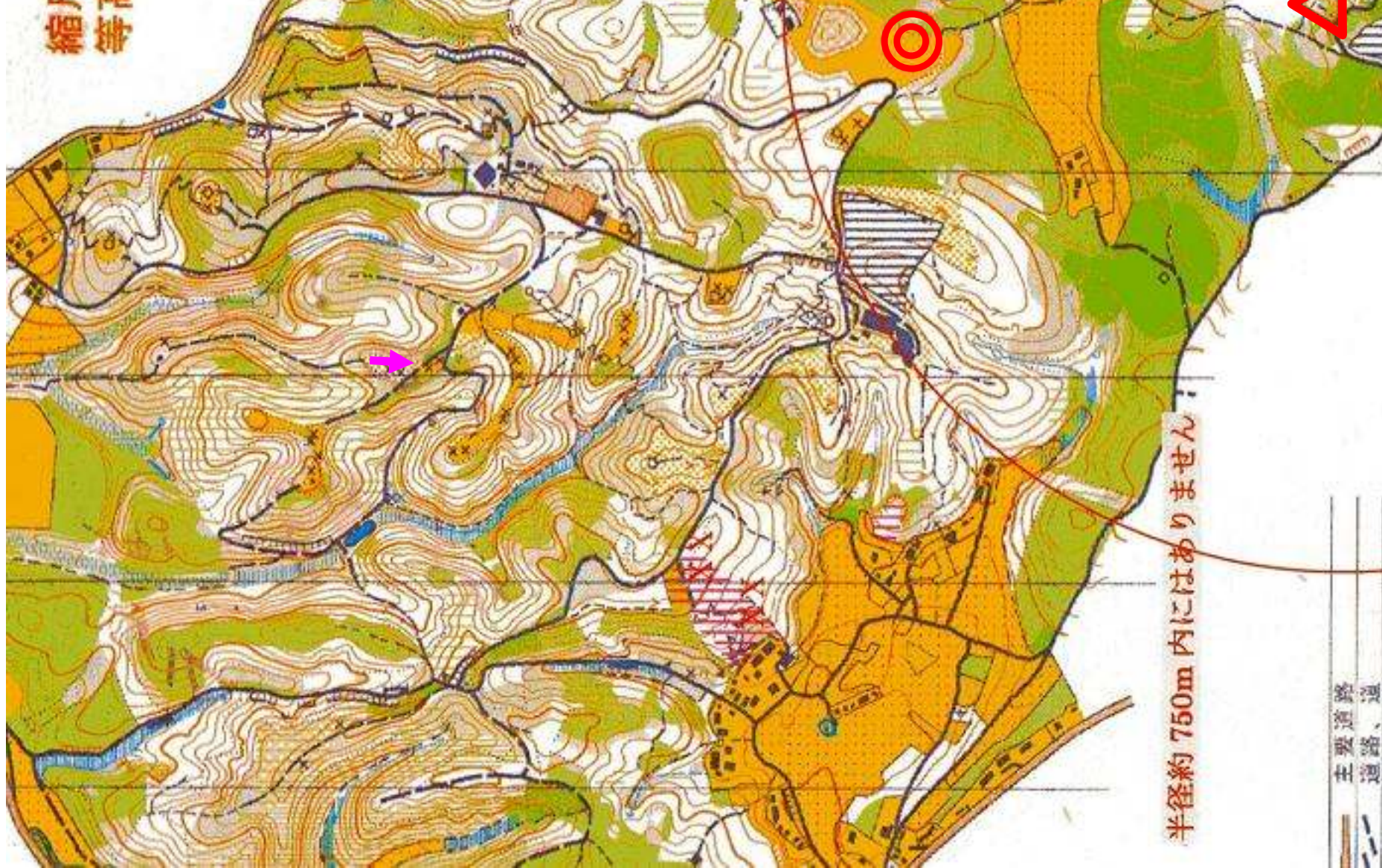


縮尺 1:10,000
5m



⑦TX1をあきらめる

スタートから50分以上たってしまった。やはりここで見切らねばならない。意を決してTX3,4をターゲットすることにして谷を渡ることにする。

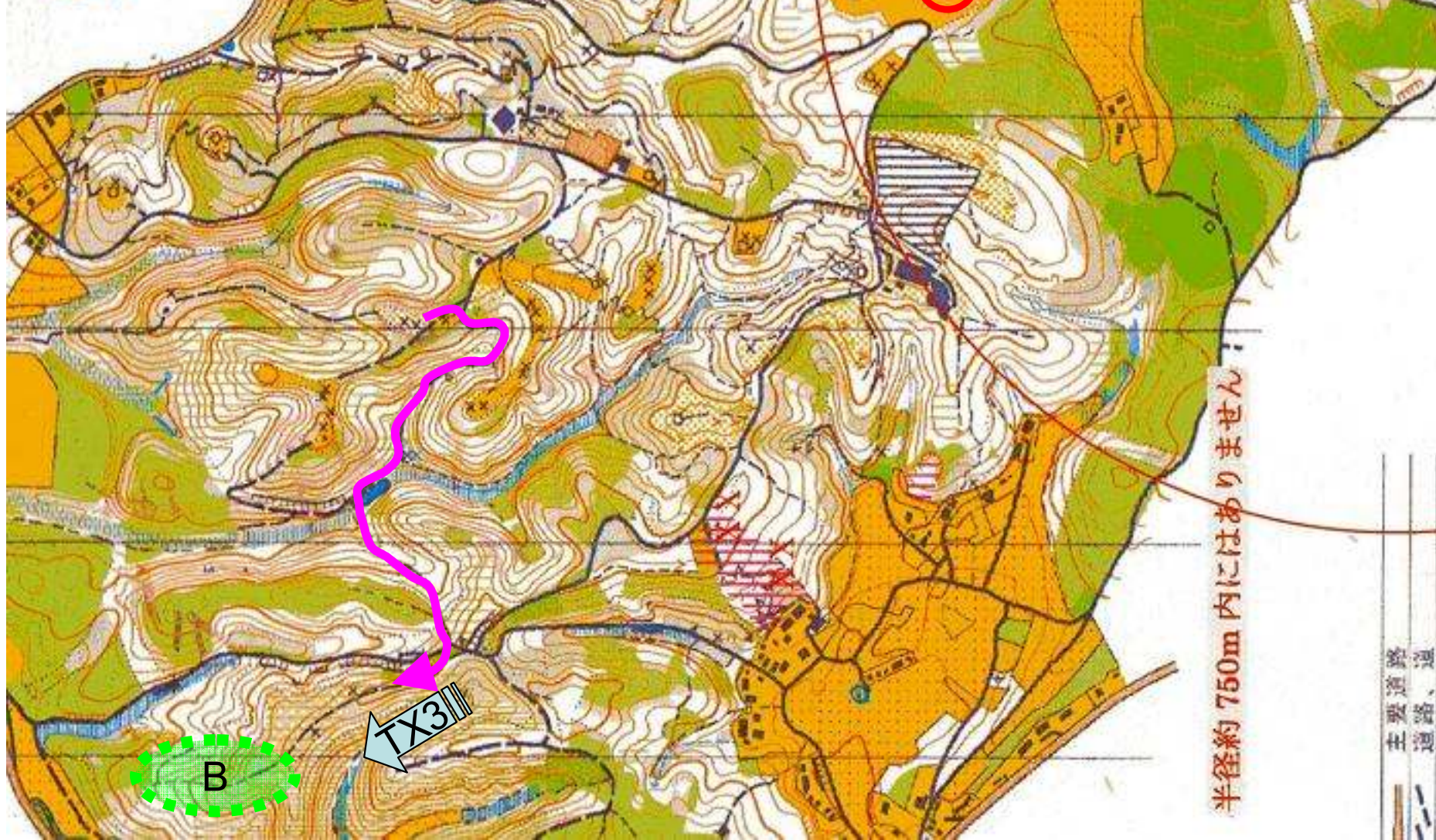


縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑧分岐

心臓破りの坂を上り分岐点でTX3,4をまつ。TX3が鳴いた。Bエリア付近だ。Bエリアに進みながら、TX4を先にすべきだったと後悔する。なぜならTX3ゲット後、TX4が鳴くまでに分岐に戻ってこられないからである。しかし進みだしてしまっただので戻る気はさらさら起きない。



縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑨TX3

Bエリアの広場に到着する。目視で難なく発見。
TX3をゲットして先ほどの分岐へ戻る。

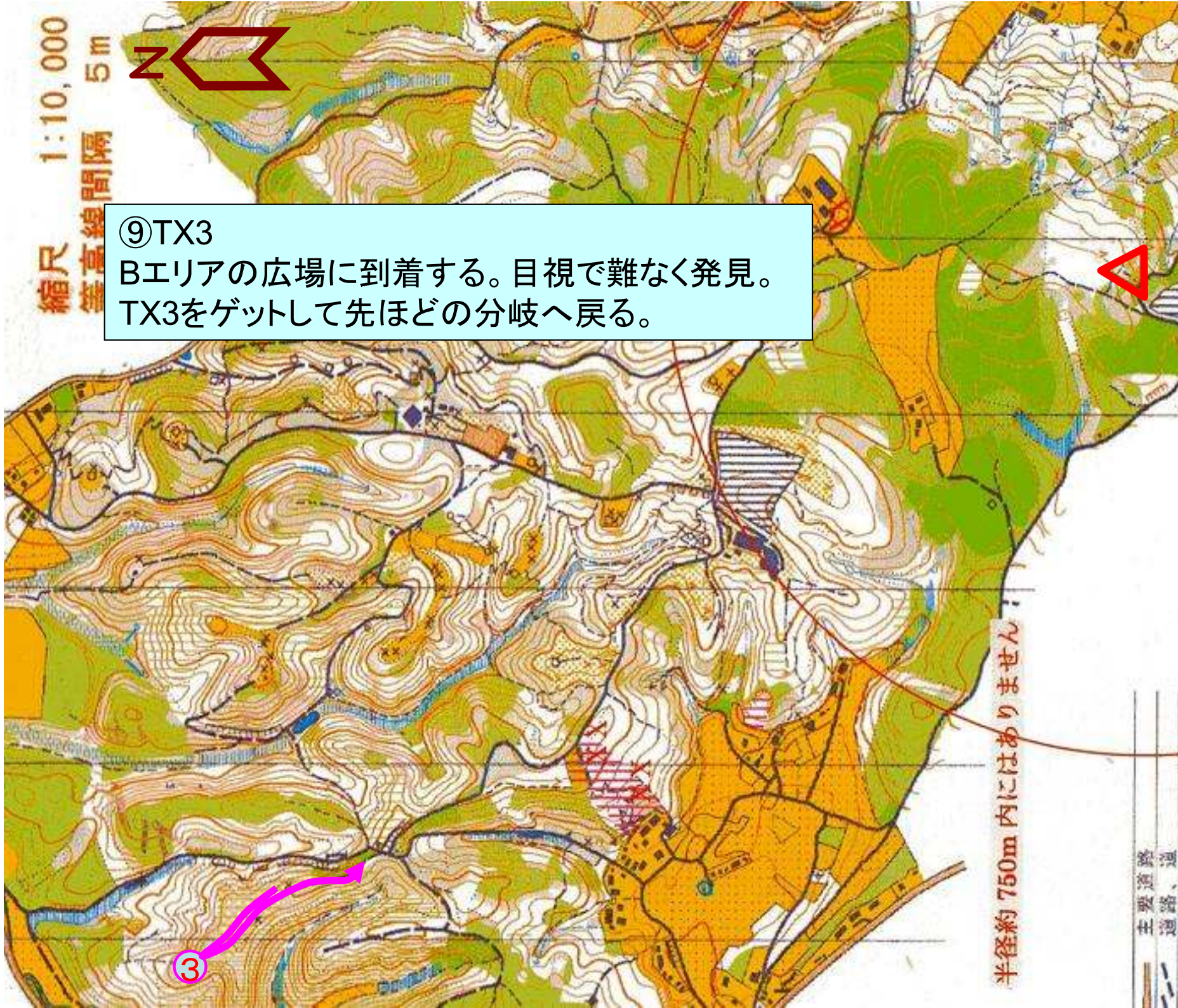


③



半径約 750m 内にはありません

主要道路
道路、道



縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑩分岐2

分岐にてTX4を聞く。ゴール方向だ。Yさんとすれ違う。小走りに駆けている。元気だ。TX4が鳴く。Cエリアと推測。



縮尺 1:10,000

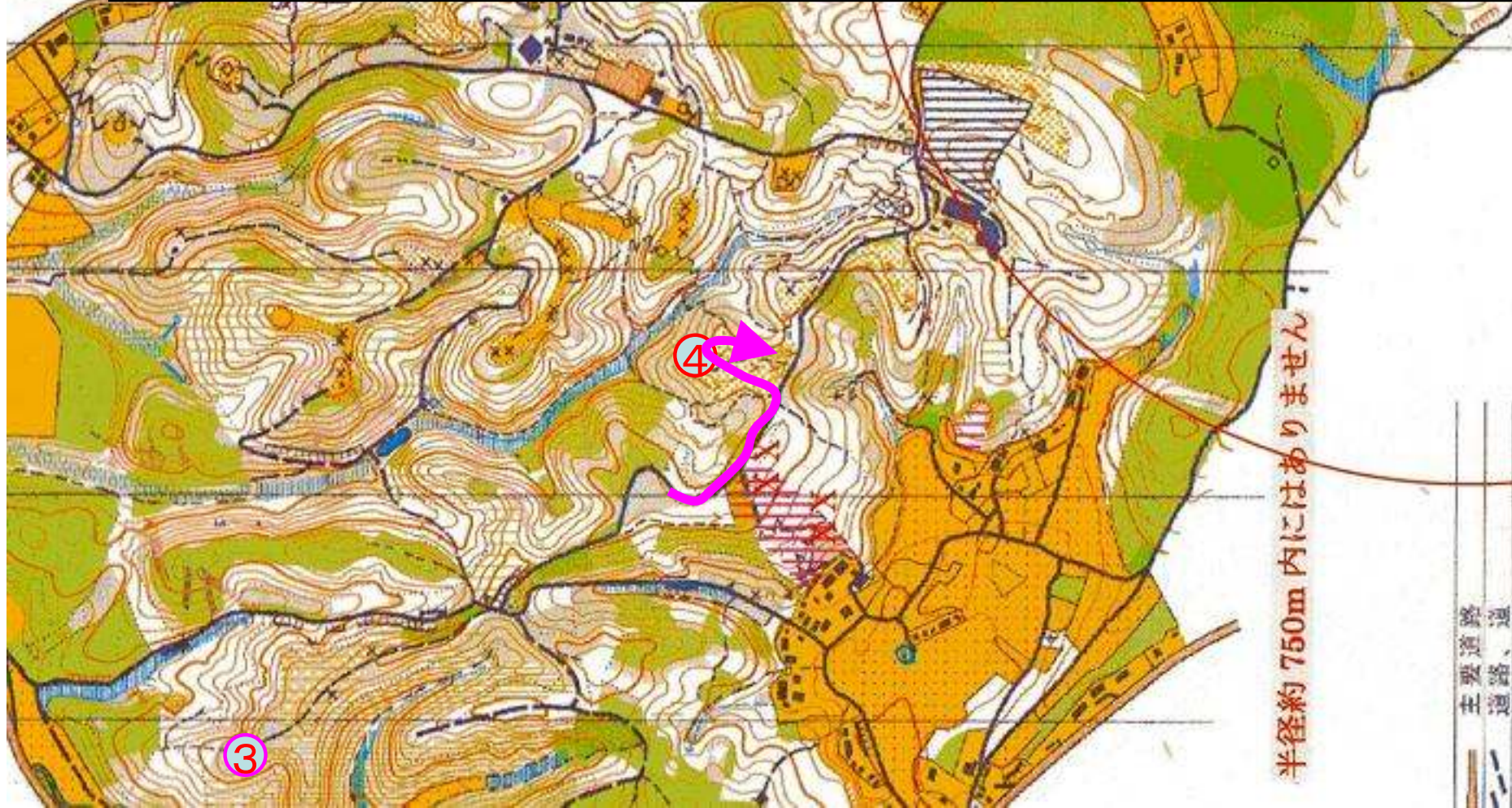
5m



⑪TX4

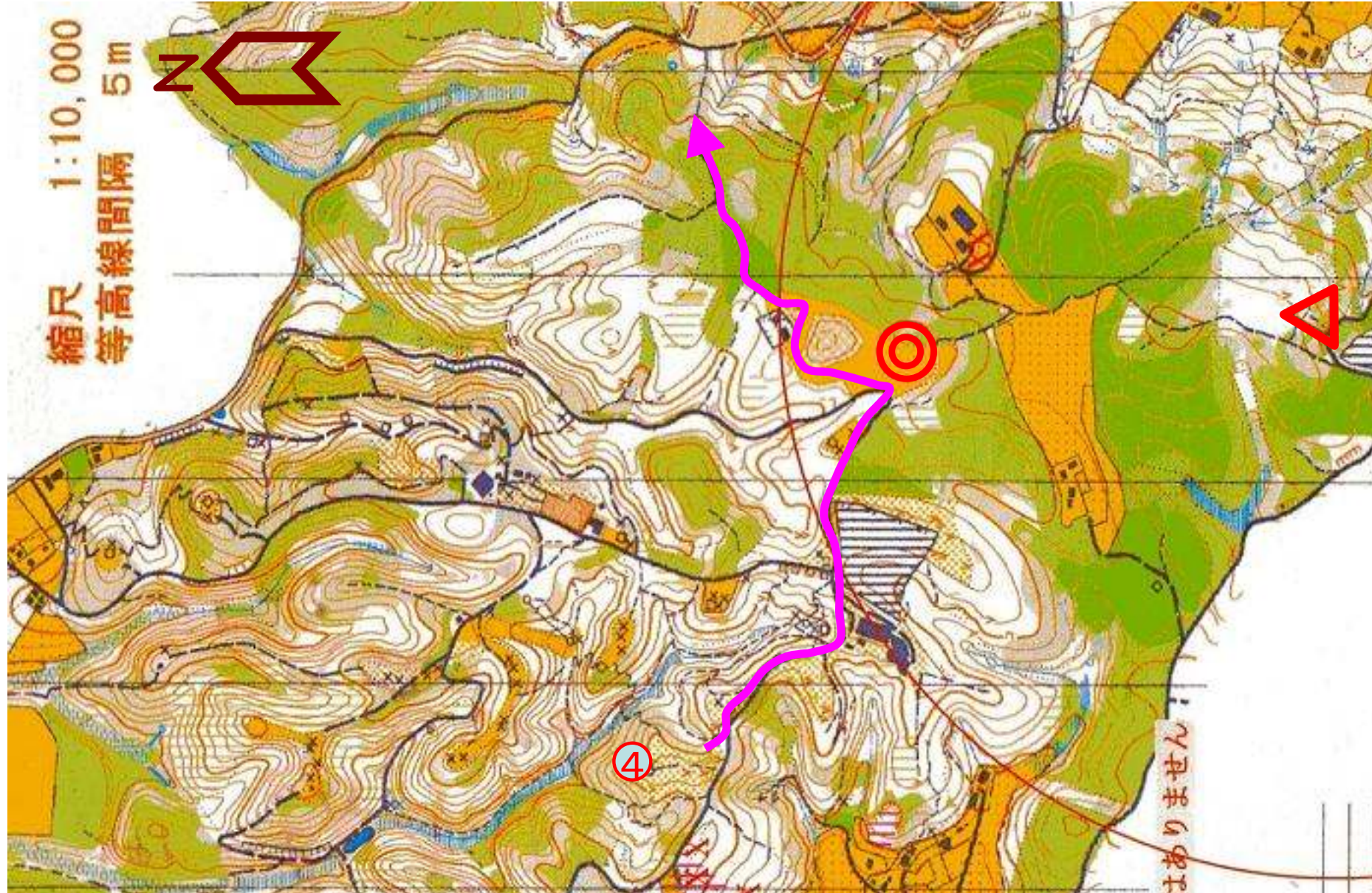
Cエリアにて目視で発見。TX4ゲット。

TX4から離れる途中で強烈なTX4信号をキャッチ。これだ。連続TX1信号をだしていたのは。この場所ならば、スタート地点付近、ゴール地点付近で強力に受信できていたこととつじつまが合う。TX1連続信号だと最初にTX1を疑ったが、確かに別のTXがTX1に化けているパターンも十分に考えられるわけだ。やられた。



半径約 750m 内にはありません

主要道路
道路、道



⑫TX5へ向かう

残りは45分でTX1とTX5と不要のTX2。TX1はかなり下のほうにあることと、TX1はノーカウントになる可能性があるのでTX5をターゲットにすることにしてゴールを経由して向かう。

③

縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑤



⑬TX5

山道を下る途中でTX5が鳴く。昨日と同様のパターンだ。車道に到達すると、左の坂から何人かが走り降りてきてこっちに向かっている。坂を上っている人もいる。なんだそこか。自分も坂を登ってTX5ゲット

④

③

半径約 750m 内にはありません



縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



⑤

④

③



⑭ゴール
もうあと30分。まっすぐゴールに向かうしかない。ゴール。

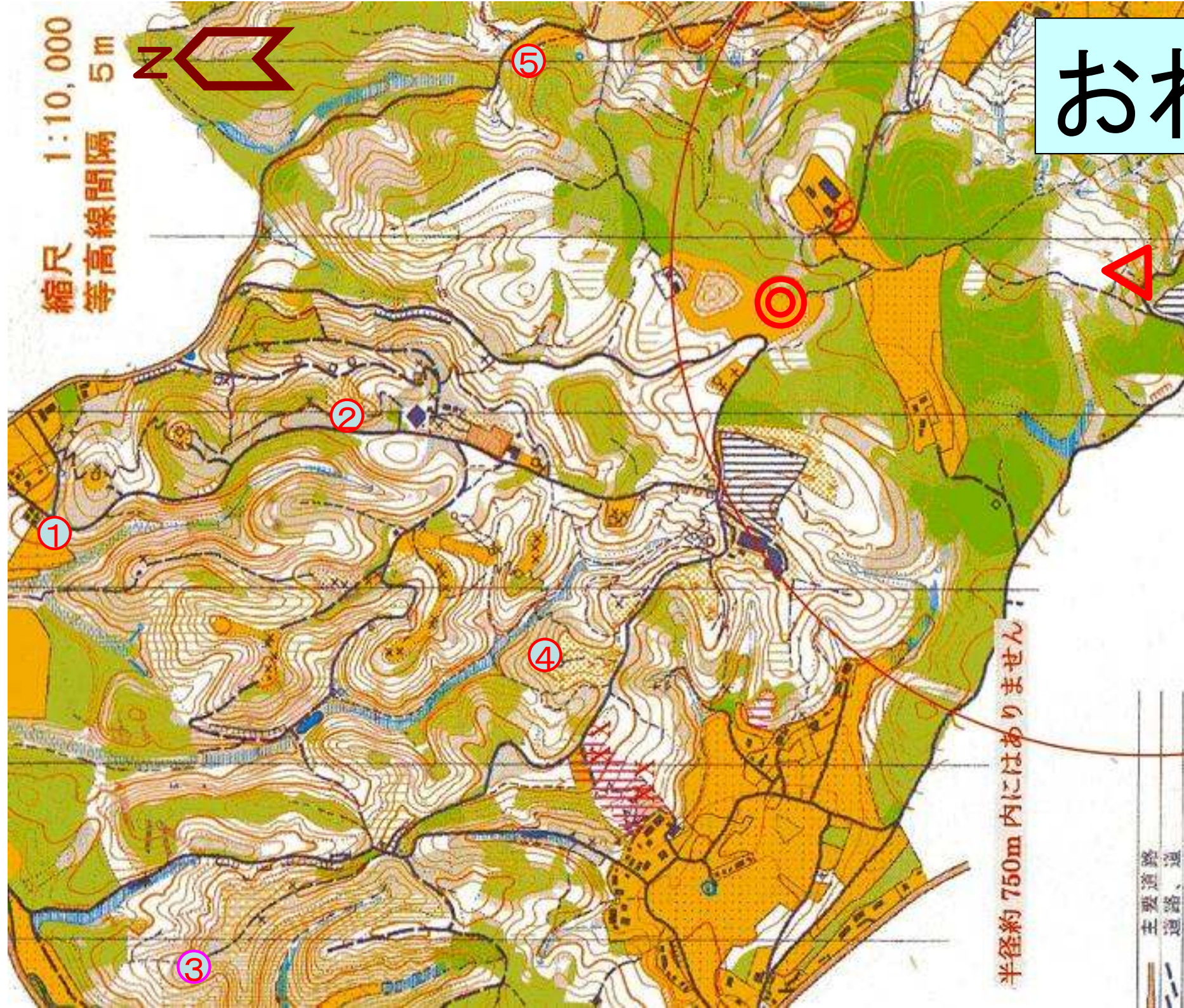
半径約 750m 内にはありません！！



縮尺 1:10,000
等高線間隔 5m



おわり



半径約 750m 内にはありません

主要道路
道路、道

反省

今回、短い時間ではあったが、連続信号探索というめったにできない経験ができた。しかし恐竜公園にあると判断してしまったのは失敗だった。スタート地点での強度や、間違っって突入してしまった恐竜公園での正確な位置方位を地図上で確かめれば連続TX(TX4)の正しい位置を特定できた可能性がある。誤設定のTXがTX1でないことに気づくのに時間を要してしまった。

たまたま谷に下りてしまったときに連続TX1が停波してしまったのは不運といえおしまいが、安易に降りてしまったことも事実だ。

時間が無いときほど落ち着かねばならない。